

<仕事と介護に関する従業員ニーズ調査結果報告書>

1. 現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について
介護経験あり 20% 介護経験なし 80%
※介護経験のなしが8割である。
2. 今後の従業員の介護の見込みについて
今後の介護の見込みあり 62% 介護の見込みなし 38%
※将来の介護の可能性は6割を超える。
3. 就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について
認知している 21% 内容がわからない 7% 制度があるかどうか知らない 71%
※仕事上、育児・介護休業規程について認知しているはずだが、会社制度の周知が低い。
4. 仕事と介護の両立に関する不安について
何らかの不安を感じている 77% 不安を感じていない、わからない 22%
※今後の介護の見込みは6割であるが、将来への介護の両立は高い数値がでた。
※不安の内容
・仕事を辞めずに介護と仕事を両立するための仕組みがわからないこと
・自分が介護休業を取得すると収入が減ること
・地域での介護に関する相談先がわからないこと
・適切な介護サービスが受けられるかどうかわからないこと
・介護がいつまで続くのかわからず、将来の見通しを立てにくいこと
・公的介護保険制度の要介護者となった場合、どのような状態になるのか予想がつかないので、漠然とした不安がある
5. 介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について
短時間制度等を利用して仕事と介護を両立 77%
仕事の仕方を特に変えない 15% その他 8%
※短時間制度を利用して働く希望が8割弱、仕事への意欲は高い。